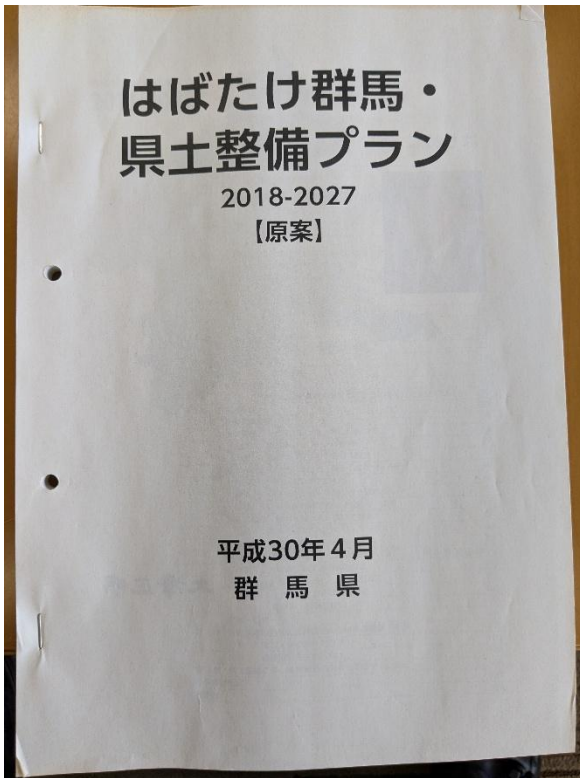


10年越しの県土整備プランが実現

～川俣駅南踏切拡張工事が完成～

2018年4月に群馬県で策定された県土整備プランに、明和町中谷の川俣駅南踏切拡張工事が正式に掲載されました。



19番目が明和町です

2 平成39年度までに着手予定の事業

施策	事業目的	目的	番号	事業名	施工箇所	備考	
1. 防災対策が充実し安心して生活できる地域づくり							
安全	政策3 【施策2】	災害に強い県土づくり 災害防止対策	15	一級河川新堀川ほか 河川改修	明和町大輪 ～邑楽町鷺新田		
	政策3 【施策3】	災害に強い県土づくり 災害時でも機能する社会 資本・体制整備	16	県道佐野行田線 電線共同溝	館林市大手町		
			17	県道綿貫篠塚線 電線共同溝	大泉町東小泉		
			18	県道除川板倉線 歩道整備	板倉町細谷		
			19	県道麦倉川俣停車場線 歩道整備	明和町中谷		
	政策4 【施策1】	安心して生活・移動できる環境づくり 交通事故防止対策	歩行者や自転車の安全な 通行を確保するため	20	県道足利千代田線 歩道整備	大泉町吉田	
			21	県道赤岩足利線 歩道整備	邑楽町篠塚		
		22	県道足利邑楽行田線 歩道整備	邑楽町光善寺			
		23	県道海老瀬飯野線 歩道整備	板倉町海老瀬			
2. 住みよいまちづくりと交通ネットワークの強化							
魅力	政策6 【施策1】	持続可能なまちづくり・地域づくり まちのまとまりとネットワークの形成	24	県道熊谷館林線(利根新橋(赤岩渡船))バイパス整備	千代田町	◎	
			25	県道山王赤生田線(楠2期工区)バイパス整備	館林市楠町		
			26	県道足利邑楽行田線(中野上宿交差点)交差点改良	邑楽町中野		

◎は「はばたけ群馬・県土整備プラン2013-2022」への掲載事業であり、平成34年度までに着手予定の事業

【赤線枠が該当事項です】

当時、川俣駅の橋上化が2016年1月に完成し、駅南側のボトルネックとなっていた踏切改修が喫緊の課題となっていました。

当時の大澤知事は、せっかく橋上化した駅の価値を発揮するためには南側踏切の改修が必要であると判断し、ゴーサインを出してくれました。

それから、踏切西側の住宅等の建物が取り壊され、道路として買収しました。そして、足かけ8年の歳月を経て、ようやく完成に至りました。思えば長い道のりでした。

これまで、大型車の運転手同士が「そちらがバックしろ」「自分の方が先に進入した」等と言い争う場面を何度も目にしてきました。そのたびに県へ連絡し、事故が起きる前に工事を早めるよう要望してまいりました。



【大型車が楽々通れる広い踏切に生まれ変わりました】

今回の工事は、すべて県の費用で行われ、総工費は6億5千万円です。この工事により、踏切の幅は従来の倍以上となり、明和町の皆様や通行される方々にとって、多大なる利便性の向上につながったと思っております。



【歩行者専用道路も広々としています】

また、歩行者専用道路（自転車専用道路）も新設され、見違えるような踏切となりました。

要望から2年、県土整備プランへの掲載から8年、足かけ10年間に多くの皆様にお世話になり完成することができました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

この劇的な変化に、明和町長として群馬県に衷心より厚く御礼申し上げますとともに、拡張にご協力いただきました地権者の皆様に、改めて深甚なる感謝を申し上げます。

令和8年3月30日

明和町長 富塚もとすけ